

平成 25 年度 事業 報告 書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

I 事業期間

平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日

II 事業の成果

設立 12 年目として、NPO の支援活動を継続してきているが、ISO の認証退潮傾向や MS の関心度の不十分さ等から十分な会員拡大、コンサル事業の推進が進まなかった。又独自の営業活動が十分に実施できず、当初の自己宣言型認定事業後の拡大が進んでいない。セミナー事業等に関しても、努力をしているが、実施は思うようには進展していない。

また、出版した ISO 有効活用ハンドブックは、今年度も会員の努力で大学のテキストに使用された。普及講演会は実施できなかったが、一般書店で販売が進んだ。

会員、運営体制等は、昨年と同様であり、定期的に理事会が実施できた。新規会員は、1 名であった。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) セミナー事業

大学、企業等で開催予定を検討していたが、実施できなかった。

(2) コンサル事業

・無料相談

【内 容】構築・運用の無料相談

【実施場所】アイ・エス・オー有効活用センター事務局

→企業先訪問を 2 社行ったが、本格的な構築にはいたらなかった。

・企業支援

【内 容】構築・運用コンサル

【実施場所】今年度は実施できなかった。

(3) ISO 監査事業

1) 【内 容】第三者による内部監査 (ISO14001、ISO9001)

【実施場所】3 社に訪問したが、実施には結びつかなかった。

2) 【内 容】自己宣言型 ISO の認定及び認定更新

【実施場所】(株)ミロットの認定更新を実施した。

IV 社員総会の開催状況

平成 25 年度総会は、平成 25 年 5 月 25 日 (土) に長岡京市バンビオ 1 番館学習室 3 で開催、18 名 (正会員 25 名の内) が参加し、平成 24 年度事業報告書、事業活動計算書、財産目録、貸借対照表の承認事項を承認した。また、25 年度の事業計画書、予算書案について議論し、承認をした。さらに、NPO 法の改定に伴う規定表現の整合を図る必要な改定を行う事項を議論し、承認した。

V 理事会その他の役員会の開催状況

理事会は、2ヶ月に1度の開催となり、偶数月の適当な曜日を打ち合わせにより定めて以下の日程で実施した。

平成24年度

第1回	2013.04.20(土)	19:00~20:45	長岡京市バンビオ1番館	MR2
第2回	2013.06.29(土)	18:30~20:00	長岡京市バンビオ1番館	MR2
第3回	2013.08.24(土)	18:30~17:30	長岡京市バンビオ1番館	会議室1
第4回	2013.10.12(土)	18:30~20:30	長岡京市バンビオ1番館	会議室1
第5回	2013.12.12(木)	19:00~21:00	長岡京市バンビオ1番館	MR2
第6回	2014.02.15(土)	18:00~20:30	長岡京市バンビオ1番館	MR2

平成25年度 特定非営利活動に係る事業活動計算書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

平成25年4月 1日 から 平成26年 3月31日

(単位 円)

科 目	決算	今年度予算	差違	備考
I 経常収益				
1 入会金				
正会員入会金収入	10,000	100,000	-90,000	小寺氏分
賛助会員入会金収入	0	100,000	-100,000	
2 寄付金		0	0	
会員寄付	0			
その他寄付				
3 事業収益				
セミナー事業	0	20,000	-20,000	
コンサル事業	0	100,000	-100,000	
監 査事業	257,480	500,000	-242,520	
4 その他収益				
受取利息	58			
当期経常収益 合計(A)	267,538	820,000	-552,462	
II 経常費用				
1 事業費				
(1)人件費	100,000	390,000	-290,000	ミロット更新監査講師料3人
(2)その他経費				
会議費	0	25,000	-25,000	
旅費交通費	11,640	35,000	-23,360	更新監査講師交通費
広報費	29,430	30,000	-570	レタルサーバー料 9,430円 メンテ更新費 20000円
印刷費		10,000	-10,000	
事務費	580	10,000	-9,420	
通信費	500		500	
支払手数料	944		944	
その他経費 計	43,094	110,000	-66,906	
事業費 計	143,094	500,000	-356,906	
2 管理費				
(1)人件費	0	30,000	-30,000	事務アルバイト費等
(2)その他経費				
会議費	7,294	20,000	-12,706	会場費 3,000円 お茶代等4,294円
旅費交通費	12,680	40,000	-27,320	理事会交通費
印刷費	0	30,000	-30,000	
事務費	0	50,000	-50,000	
通信費	0	0	0	
支払手数料	0	0	0	
その他経費 計	19,974	140,000	-30,000	
(3) 予備費	0	30,000	-30,000	
管理費 計	19,974	200,000		

当期經常費用	合計(B)	163,068	700,000	-536,932
当期經常増減額(A) - (B) = (E)		104,470	120,000	
Ⅲ 經常外収益				
固定資産売却益等				
經常外収益	合計(C)			
Ⅳ 經常外費用				
固定資産売却損等				
經常外費用	合計(D)			
当期經常増減額(E) + (C) - (D)		104,470		
前期繰越正味財産額		260,817		
次期繰越正味財産額		365,287		

平成26年度事業計画書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

I 事業の実施方針

- ・平成26年度は、ISO14001, 9001の改訂が具体化する年度であり、改訂準備としての対応が求められる。新規格の解説や改善方法を普及することを目指す。
- ・事業活動としては、改訂新規格に関連したセミナーやコンサルに力を集中し、同時に自己宣言型ISOの認定監査を拡大普及する。昨年度と同様に省エネ支援と連携した多様な展開を進める。
- ・特にISOの認証済企業で改訂作業、更新作業の支援を強化し、自己宣言型ISOの認定やISOのスリム化、見直し、「見える化」、電力コスト削減、IT化促進の改善を呼びかける。
- ・また、ISO関連分野としてエネルギーマネジメントシステムの普及、省エネ活動、節電事業に努力をする。

II 事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動に係る事業

(1) セミナー事業

【内 容】ISO改訂新規格の情報普及セミナー、新規格解説セミナー

【実施日時】随時実施予定（概ね2回）

【事業の対象者】ISO取得済企業のISO担当者、ISOの構築に興味のある方

【収 入】6万円

【支 出】講師料4万円 交通費1万円 印刷費1万円

(2) コンサル事業

- ・無料ISO相談、無料省エネ診断等

【内 容】構築・運用の無料相談

【実施場所】電話相談、企業先訪問

【事業の対象者、方法】要構築希望個人又は団体：電話、メール相談

【収 入】0円

【支 出】0円

- ・企業支援

【内 容】ISOコンサル（改訂更新、スリム化、有効活用）

【実施場所】要支援希望団体

【実施日時】適時

【事業の対象者】ネットによる要請を受けた希望団体

【収 入】5万円×2社 = 10万円

【支 出】講師料1社3万円×2社 = 6万円

成約謝金：2万円 会議費1万円 交通費等：1万円 合計10万円

省エネ相談・診断等の交通費は、相談企業の実費負担とする。

(3) ISO 監査事業

【内 容】 第三者による自己宣言型 I S O 認定の内部監査

【実施場所】 要構築希望団体

【実施日時】 適時

【事業の対象者】 要内部監査希望団体

【収 入】 20 万円 (2 日/回) × 2 社 = 40 万円

認定書発行費用 5 万円 × 2 社 = 10 万円

【支 出】 講師料 1 社 10 万円 × 2 社 = 20 万円

成約謝金 6 万円 会議費 2 万円 交通費 4 万円 事務費 4 万円

印刷費 2 万円 通信費 2 万円

認定維持内部監査チェック人件費 1.5 万 × 2 社 = 3 万円

合計 43 万円

(4) 情報発信・広報事業

【内 容】 HP を更新し、情報発信に努める。メールによる内部監査代行の宣伝
自己宣言型認定監査の普及、ISO 改訂情報を P R

【収 入】 0 円

【支 出】 6 万円 (レンタルサーバー使用料等 1 万円 メンテナンス人件費 2 万円
会議費 1 万円 交通費 2 万円)

平成26年度 特定非営利活動に係る事業活動予算書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

平成26年 4月 1日から 平成27年 3月31日

(単位 円)

科 目	予算	前年度予算	差違	備考
I 経常収益				
1 入会金				
正会員入会金収入	100,000	100,000	0	10人見込み
賛助会員入会金収入	100,000	100,000	0	5社見込み
2 寄付金				
会員寄付	0	0	0	
その他寄付	0	0	0	
3 事業収益				
セミナー事業	60,000	60,000	0	2回予定、30人見込み
コンサル事業	100,000	100,000	0	2社見込み
監 査事業	500,000	500,000	0	2社見込み
4 その他収益				
受取利息	0	0	0	
当期経常収益 合計(A)	860,000	860,000	0	
II 経常費用				
1 事業費				
(1)人件費	430,000	410,000	20,000	講師料、その他人件費
(2)その他経費				
会議費	40,000	40,000	0	
旅費交通費	40,000	80,000	-40,000	営業旅費を含む
広報費	30,000	30,000	0	レタルサーバー料等
印刷費	30,000	20,000	10,000	
事務費	50,000	50,000	0	
通信費	20,000	20,000	0	
支払手数料	5,000	5,000	0	
その他経費 計	215,000	245,000	-30,000	
事業費 計	645,000	655,000	-10,000	
2 管理費				
(1)人件費	20,000	20,000	0	事務アルバイト費等
(2)その他経費				
会議費	20,000	20,000	0	会場費、お茶代等
旅費交通費	40,000	40,000	0	理事会交通費
印刷費	30,000	30,000	0	総会等資料コピー代
事務費	50,000	50,000	0	事務用品、封筒
通信費	10,000	10,000	0	
支払手数料	5,000	5,000	0	
その他経費 計	155,000	155,000		
(3) 予備費	40,000	30,000	10,000	
管理費 計	215,000	205,000	10,000	

当期經常費用 合計(B)	860,000	860,000	0
当期經常増減額(A) - (B) = (E)	0	0	0
Ⅲ 經常外収益 固定資産売却益等 經常外収益 合計(C)	0		
Ⅳ 經常外費用 固定資産売却損等 經常外費用 合計(D)	0		
当期經常増減額(E) + (C) - (D)	0		
前期繰越正味財産額	365,287		
次期繰越正味財産額	365,287		